

全 員 協 議 会

日 時 令和元年9月27日（金）
本会議終了後
場 所 議場

付議事項

- 1 会派の視察報告について（明政会）
- 2 その他

視察報告書

令和元年9月27日

1 視察日、視察先、視察事項

令和元年7月2日（火） 静岡県三島市
男性の育児休業取得奨励事業について

2 参加議員

会派 明政会（伊場 勇、小野 泰、河崎 平男）

3 報告事項

【視察の目的】

三島市では、妊娠期から出産、子育て期に至るまで子育て応援事業を実施している。そうした中、男性の家事、育児への参加を促す方策を取っている先進地を視察し調査研究を行う。

【視察先の状況】

男性の育児参加を推進し、男女が共に子育て出来る環境を整備するため、育児休業をした男性労働者及び当該男性労働者を雇用する事業主に対し、補助金を支給する事業である。

市内在住男性労働者が、1歳未満の子どもに対して連続5日以上（週休日を除く）の育児休業を取得した際に、その労働者及び当該者を雇用する事業主に対し、1日5千円の補助金を支給する（上限20日、各10万円限度）。なお、事業主は市内外を問わない。事業主にもインセンティブを与えることにより、取得者と事業主が相談しやすくするとともに、男性の育児休業に対する事業主への周知、理解を深める事業を展開している。

【考察】

社会の流れに沿う事業であるが、申請件数や取得日数が伸び悩んでいる。特に景気動向に左右され休暇取得が困難な中小企業の取得者が少ないのが課題である。しかし、男女共同参画社会を実現するためにも参考となる事業である。

1 視察日、視察先、視察事項

令和元年7月3日（水）神奈川県伊勢原市大山小学校
特色ある教育モデル推進事業について
対応者（教育委員会学校教育課長、大山小学校校長）

2 参加議員

会派 明政会（伊場 勇、小野 泰、河崎 平男）

3 報告事項

【視察の目的】

伊勢原市ではICT機器の利活用と外国語活動の充実によりグローバル化時代に対応した児童の育成を図っている。文科省の教育課程特例校としての先駆的な取組を視察し調査研究を行う。

【視察の状況】

平成25年から始まった事業である。伊勢原市の小規模校である大山小学校は全校生徒が57名で、その内15名が学区外からの通学となっている。小規模校の維持のため、一人一人に目が届く丁寧で特色のある教育を行い、特例的に学区外からも通学も認めている。

1～4年は年間35回、5～6年は年間53回、英語の授業を行う。ネイティブスピーカーのALTと英語の話せる日本人の専科教員、担任の先生の3名体制で授業を行い、全て英語で行っている。担任の先生も積極的に英語のみを使い児童たちをフォローしていた。大型のモニターを使い、歌と音楽で楽しく親しみやすい環境が出来ており、クラス児童全員が英語を慣れたように話していた。

平成29年度予算は454万円である。

【考察】

大山小学校は5分の1が学区外の児童であり、送り迎えなど保護者の負担は大変だと思われるが、一人一人に目が届き、特徴的で素晴らしい教育方針に賛同し、通わせたいという希望者が増えていることに人口減少時代の新しい教育体制の可能性を感じた。また、国が推進する教育を先だって実施することの利点も大変参考になった。